

壮行会

演劇部の皆さん、日頃の稽古が今回の成績に繋がったこと、大変嬉しく思います。練習場所や時間に制約がかかるなかで、工夫と努力で、このような結果が得られたのだと思います。横浜で行われる関東大会でも、表現する喜びを感じながら演技して来て下さい。

弓道部・市川海人君、全国高校選抜大会出場おめでとうございます。輝かしい弓道部の伝統と歴史に新たな1ページが加わりました。弓道は、自分を如何にコントロールするかで結果が決まる競技だと思います。相手の結果に惑わされずに自分の射に集中して試合に臨んで下さい。

それぞれの部の健闘を祈ります。

全校集会

表彰を受けた生徒の皆さん、おめでとうございます。県大会3位以上県西大会優勝を対象にした表彰で、運動部は5団体延べ37名、文化部関係は4団体4個人延べ22名という盛況ぶりです。これほど多くの表彰状を読んだのは初めてです。皆さんがこのような結果が得られたのは、日頃の努力の賜です。特に今年度は、全国大会や関東大会への出場をそれぞれ5つの団体が勝ち取っています。例年を大きく上回る成績で、たんへん素晴らしいことです。校長として大変誇らしく、外部にも自慢しています。このような活躍は学校を元気にしてくれます。本校は、文武不岐を掲げている学校ですから、この勢いが、日頃の学習や進学の成績にもつながっていくことを期待しています。

さて、(色紙額を掲げて)既に学校HPでも照会しましたが、校長室前の廊下にこの額を飾っています。これは、本校第63回卒業生の戸恒東人(とつね はるひと)様が書いた色紙と短冊です。それを戸恒様の同級生である、天賀谷茂様がこのような立派な額に入れて、本校に贈ってくださいました。天賀谷様は今年の3月に本校に新しい応援団旗を贈って頂いた方です。(単行本を掲げて)そしてこちらは戸恒様が今年出版した「学舎」という歌集です。戸恒様は、下妻一高という「学舎」で勉強に励み、東京大学に進学し、その後、旧大蔵省造幣局長や大学教授などを歴任し、現在は、歌壇で活躍されています。数年前には、本校で行っている「先輩講話」も引き受けていただきました。その時講話を聞いた生徒が刺激を受けて実際に東京大学に進学したそうです。

色紙に書いてある句を読み上げます。「**学舎は 為桜の園ぞ 筑波東風**」(復唱)です。為桜学園の春に桜の舞い散る光景を思い描いて、句を詠まれたのではないかと思います。戸恒様は、現在73歳となられますが、下妻一高で多くの仲間と共に、高校生活を送ったことを、誇りと自信にして、日本という国の中心で活躍された方です。そして母校を今も大切に思ってくれています。私は、今回このような色紙が学校に届けられたのは、下妻一高の後輩である生徒の皆さんに対して、「在学中は勿論、卒業後も自分の母校に誇りを持って堂々と活躍してくれることを願います」というメッセージだと感じました。この歌の意味をきちんと理解するには、高校生活を最後までやりきった人でないと難しいのではないかと思います。皆さんも卒業後に、この歌をかみしめるような高校生活を送って欲しいと思います。下妻一高にはこのような先輩方が大勢いることを紹介したくてこの話をしました。2週間以上ある冬休みを有効に過ごして、1月8日、全員元気に登校して下さい。